



ぼらんていあ通信

No.427

2017年6月27日

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp http://sagamiva.wordpress.com/

新理事さん二名が加わり二〇一七年度理事会がスタートしました!

六月一日に理事会が開催され、新会長に高橋功さんが互選されました。

高橋さんに、新会長としての思いや抱負などを伺いました。

会長就任あいさつ

高橋功



六年ぶりに理事に復帰し会長に就任する事となりました。力不足で本当にお役に立つかわかりませんが、お受けした以上は覚悟して頑張っていきたいと思っています。

私は「ボランティア協会の役割は何だろう?」と何時も考えていますが、昭和五十六年設立時の初心に帰って、市社協ボランティアセンターと協働していく事かなと思っています。

ボラ協は財政面では、六年前、五、六年しか持たないと思われていた収支をその後の理事さん、各委員会やボランティアの皆さんの努力でH.C車を代替するまで改善していただきました。お陰で協会が存続できることを心から感謝いたします。



事業面では、養成講座、H.C事業、交流事業などがあります。各部門とも課題はありますが、H.C事業について運転手の

高齢化の問題があり早急な対策が必要です。委員会について、「総合企画委員会」は、将来計画、「ボラ協らしい活動」の追求、助成金などの研究、財政問題、委員会の在り方などを検討します。

次に、広報の役割は大きいと私は思っています。行政や市民からの情報収集や行政や市民への情報の発信は非常に重要です。「ぼら通」、「わくわく」や「ホームページ」を有効に活用していく必要があると思っています。また、ボランティアの役割は重要で広報委員会との連携も必要となります。委員会の名称について、「広報委員会」と「情報戦略委員会」を「広報委員会・ぼら通分科会」と「広報委員会・情報分科会」としました。活動や委員会は従来通りです。

また、傾聴活動は南区を中心に軌道に乗り始め、他の区への拡大やボランティアの配置等の問題もあり「傾聴委員会」を作り検討していきます。

このような事業を推進するためには、強固な事務局体制が必要です。総会・事業報告にも書いてありますが、事務局体制の構築が最も重要になってきます。

以上の通りいろいろと課題は多いと思いますが、このような課題は一挙に解決できるとは思いません。一歩一歩前向きに和をもつて対処し、未来に向かって楽しく前進させていきたいと思っていますので、皆さん

の強力なご支援、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

*石関清美新理事からのメッセージは、四頁の『理事のつぶやき』に掲載しています。



石関理事

7月の記念日は?

小倉義男

7月6日は、サラダ記念日です。

1987年に俵万智さんが出した『サラダ記念日』という歌集が空前のヒット。教科書にも載ったなどで、歌集としては異例なヒット作となりました。その中の短歌『この味がいいね』と君が言ったから七月六日はサラダ記念日』に由来。俵万智さんは当時、橋本高校の教師をしていたことから、相模原には縁が深い記念日ですね。あれからもう30年が経つんですね。



小倉画

NEWS

あなたにこの「ねん」ってなっ

神奈川県民局へくらし県民部NPO協働推進課が製作した小冊子

「キフスタイル

寄付いくらで8000のイベント

に、相模原ボランティア協会が紹介されています。

この小冊子では、寄付を、見返りを求めない未来への投資としてとらえ、新しいお金の使い方(キフスタイル)が、色々なエピソードと共に掲載されています。



相模原ボランティア協会
協定 相模原市

助け合う心、やさしい心、ありがとうの心、つなぎあふ手。
地域で支えています!

<https://sagamiva.wordpress.com/>

当団体は、1981年に設立し、高齢者や障がい者の支援に関する活動を行っており、福祉有償運送、ボランティア養成事業、情報発信事業、交流事業を主要な事業としています。変化していくニーズに対応しながら、傾聴、就労支援、住まい探し支援など新たな活動にも取り組んでいます。

たえ、誰かのために

コーヒー一杯分を店に預ける

「サスペンディッドコーヒー」

イタリアの伝統的な助け合いの精神に基づく運動

で、日本では「保留コーヒ

ー」と呼ばれているんです。

一杯分のコーヒーの料

金を払って、一杯は自分の

ために、もう一杯は、お金

に余裕がない人のために。店

は誰かから申し出があった場合、この保留分の資金を使

って、コーヒーを無料で提供するというシステム

日本でも、この仕組みを少し日本風にアレンジ

し、NPOに寄付するといった取り組みが始まってい

るそうです。

ボランティア協会も、あなたが寄付をしたいN

POとして「見てみようー僕らのまちで活躍する認

定・指定NPO法人」欄に掲載されています。

定・指定NPO法人」欄に掲載されています。

また、この小冊子では、「寄付する」と「受け取る」の「税制優遇」などが分かりやすく書かれていますので是非、一度この冊子をのぞいてみてください。



神奈川県NPO協働推進課

で検索してください



クイズに挑戦

森と紙に関する環境クイズです。

①次の内、地球温暖化の主な原因になると言われている物質はどれ?

ア酸素 イアンモニア ウ二酸化炭素 エ水素

②材木を生産する会社に対して、植林を促すために

森林管理協議会と言いつつNGOによって作られた仕組

みの内容は?

ア材木の値段を上げるようにお願いする。イ植林

用の苗木をタダで配る。ウ一定以上の木を伐った

ら罰金を取る。エ伐った分だけ木を植えているか

確認する。

③一年間に世界の森林が減少する面積は、日本の国

土のどのくらい?

ア3000分の1 イ3000分の1

ウ300分の1 エ3分の1

④紙は回回ぐらいいサイクルすることができ、ア一回だけ

イ一回でもできる ウ3〜5回



Twitter

ほらんていあ通信版
ツイッターコーナー



小林瑞枝

東京都障害者ダンス大会に参加した。サファイアトルが第十回下リミリアンコンサート先日の六月十日、会場は千駄ヶ谷の東京体育館メインアリーナ。運動代わりにも思ってた始めたフラダンス、もう二十年近くやっている。フラスタジオの大きな鏡に映る、踊る自分の姿が怖いのであるべく見ないようにしていつも適当に踊っているからちょっとつまらない。

その私がひょんなことでタイトルの集いに一四七名の仲間と共に参加した。三十近くの参加団体の中で一番の太所帯だった。参加して初めて開催の趣旨が分かった。障がいのある人たちが家族、その人たちを支える人たちが招待し、世界の色々なダンスを観て楽しんで踊ってもらった一日だった。アリーナの広いコートを二分し半分を障がいのある人たちが楽しむスペース、もう半分に参加した団体が順番に踊りを披露するのだ。インド舞踊、バリのダンス、クラシックのバレエとジャズダンスのコラボ、ハワイのフラでは私はスタジオの仲間と会場にアロハを発信して踊った。少人数の歌や踊りのバンド演奏では障がいのある人たちは境界線を越えて身体いっぱい使っていていっしょに踊っていた。世界のステキな踊りを楽しませてもらった一日、フラを続けてきて良かったと思った。もっとつまらないマハロ。



お座敷唄の替え歌で
「ボケない唄」を歌います

報交換会を偶数月に一回開いていて高齢者の方が気軽に参加し、おしゃべり出来る楽しい場をつくり、仲間ができて、助け合いの輪を広げるサロンづくりです。



光が丘地区で活動する「いきいきサロンハーモニー」は当協会理事の小野明雄おのあきおさんが代表を務めています。光が丘地区社協に電話をして井村さんから紹介いただいたのが小野さん、事務局でお世話になっており取材の不安が少しほぐれました。

第三木曜日の開催日に訪れた光が丘一・二丁目自治会館は静かな住宅街の一角にありました。十時開始なので事前に小野さんに話を聴く時間もほしいと早目に行きましたがもう大勢の方が集まり、忙しい準備の合間にお話を伺いました。

十四年目に入った「ハーモニー」の活動は民生委員(小野さんも民生委員です)と自治会員福祉部の手で運営され、光が丘一・二丁目の自治会内にお住まいの高齢者の方が気軽に参加できるお茶飲み会、情報交換会を偶数月

ボランティア活動グループ訪問記

**光が丘一・二丁目の
ふれあいいきいきサロン**

「いきいきサロン ハーモニー」

シルバー川柳にみんなで大笑い!

手元の今日の資料を見ると発声訓練「パタカラ」、シルバー川柳、ボケます唱歌など、何でもやら面白そうです。テーブルにはお茶、果物、お菓子が各人に用意され会費は百円。参加できるのは、原則七十歳以上の一人暮らしの方。

小野さんの始まりの挨拶で「今日はゲストの方が大勢です。民生委員の方が二名、取材が二名(私たちのことです)、地区社協の井村さん、老人会会長さん、自治会会長さん、ひかり連合会自治会会長さんです」と。次いで民生委員の駒村さんの指導で「パタカラ」となった。パタカラパタカラパピパポと唱えると脳の活性化に



さあ、パタカラを一緒に～
(右から小野さんと駒村さん)

良く、ぼけ防止になるそうです! みんなでプリントを見ながら唱える。だんだんと顔がほころび、にやけてくる。にやけたところで、シルバー川柳をみんなで順に読み上げる。大爆笑! 「メイドカフエ? 冥土もカフェがあるのかえ?」「驚いた(惚)ホれると(惚)ボけるは同じ文字」「人生に迷いはないが道迷う」(紙面に限りあり、「こまごま」。お腹のよじれを直して次は「ボケます唱歌」と「ボケない唱歌」を替え歌で歌います。大声で歌ってすっきりしたところで、お茶で一息つき、皆で談笑。次のプログラムはカラオケのよつて曲が流れ始めたところで私も失礼しました。始めから終わ

まで笑いつぱしだった気がする、楽しいサロン作りは大成功ですね。(杉崎・小林)



光が丘1・2丁目
自治会館の入口



*いきいきサロン ハーモニー
代表 小野 明雄
252-0227
相模原市中央区光が丘2-5-3
電話 042(754)2853

クイズの答え

①は①の二酸化炭素

太陽の光で温められた地球の表面からは、熱が放出され宇宙に出ていくが、大気中の二酸化炭素は、この熱を吸収するため、二酸化炭素が増えると気温が上昇するから。

②は①の伐った分だけ植えているか確認する。

この仕組みは「森林認証制度」と言い、伐った分だけ木を植えている森と、そこから切り出された木に証明書を発行し、材木を買った人が環境に配慮した材木を選ぶようにしている。

③は①の3分の1。

④は③の3〜5回。紙の繊維をほぐせば、再び使うことができる。ただし、だんだん繊維が傷んで絡みつくようになるので、再び繊維をくっつけて紙にするには限界がある。

*日本で使われる紙のうち、一度使った紙(古紙)を原料にして作られる紙の割合は、大体60%です。



理事のつづき

「理事を受けたは良いけれど」

理事 石関 清美

私とボランティア協会との関わりは町田から越してきて4年近く経ち少しゆとりが出来た2002年、ふと目にしたボランティア協会の育成講座の案内でした。

町田に居た時は息子（重度の知的障害）の為に余暇活動、卒業後に働く場としての作業所作り、運営に参加と一生懸命働いて来ました。息子が大きくなり、相模原に来て安定し、ゆとりが出来たところで親としてはなく私自身としてお返しが出来ればと思い、養成講座終了後ボランティアグループ「クロバー」に入会、2003年4月にボランティア協会に入会と同時に南事務所の事務局でハンディキャップの運行の為に事務手続きや介助を始めました。途中、南事務所がワンルームマンションに引越して2014年7月まで南事務所一筋でやってきました。その間、時間的に制約があることと遠いことを口実に中央に出向くことは有りませんでした。ところが南事務所が中央に吸収され、現在、南との連絡係として通っています。中央ではハンディキャップの仕事以外に沢山の仕事があり事務局員の大変さを目にすることになりましたが見ぬふりをして…。

2015年4月より傾聴の仕事が始まりました。現在南地区の二名を担当しています。

そんな私にこの度理事をとのお話をいただき、ハンディキャップと傾聴以外殆ど分らない私に何故その様な話が回ってきたのかと思ひながらお話を伺ってしまいました。お断りしようと思ひながら夫に話すといつもは「止めとけば」という彼が「誘って下さる内が花だよ。引き受ければ」とって。と云うこと

は夫が協力するからということかな？と思いつつ最後の仕事と引き受けてしまったのでした。が「アーアッ！どうしよう。」男性の中に一輪の花（枯れ尾花）重ねて女子力も無く、時間的制約のある私に何が出来るのか。私のパソコンは「太郎」とゲームをする為の物。先ず夫のパソコンを借りて練習しなければ…。メールアドレスもうまく送れずアー困った。そして送られてくるすごい量の資料。読むだけで大変。理解出来ないことも沢山あって…。説明を受けた時は月に一回理事会に出ればよいと「嘘ばかり」と愚痴つてみても仕方ない。受けたからには皆さんの足を引っ張らないように、分からないことは教えて頂きながら、老骨にむち打って、自分なりの頑張りしかできないけれど…。

やらなければなりません。優しい理事の皆様方、ご指導宜しくお願い致します。

ボランティア協会 7月のよてい

日	時間	内容
4(火)	13時～	広報委員会
5(水)	13時半	定例理事会
8(土)	14時～	事務局委員会
11(火)		黄色いレシートキャンペーン
15(土)	10時～	HC委員会
24(月)	13時	ぼら通印刷
25(火)	13時	ぼら通発送
26(水)	19時～	ほかふれ幹事会

理事会報告

一、六月一日理事会を開催、会長、副会長を選出した。

二、六月七日理事会十三時三十分（理事八名）

情報戦略委員会

ホームページ改修を行っている。

<http://sagamiva.info/> 感想を求める。

◆ハンディキャップ委員会

・日本財団に補助金申請を行った。決定は十二月中～十二月中。

・南地区での運転ボランティア増員対策としてセミナーを計画

七月十二日：東林公民館で東林いきいき塾
七月十三日：南社協セミナー

◆事務局委員会

・事務局サポーターの清水さんが五月末で退任

◆講座検討委員会

・夏講座：七月八日、十五日、二十二日以降コース別講座

◆その他

・ほかほかふれあいフェスタ2017
十月十四日と十二月九日（冬）に開催

☆審議事項、

・委員会のあり方につき議論。

・傾聴委員会新設が承認された。

・地下倉庫の整理方法

・在庫品リスト（小野理事作成）により保管品と処分品を決めた。処分品のうち引き取り手が無い物は廃棄とすることを決定。

・（株）イノウエ様よりバザー用品（靴の中敷き等）提供の申し出を受けることにした。

次回理事会 七月五日（水）十三時三十分

イベント情報

縁JOY 夏まつり

日時

八月五日(土)午後五時～

場所

社会福祉法人相模福祉村
特別養護老人ホーム
縁JOY

内容

(中央区田名七六九一二)
「一夜限りの縁JOY
パーク」をテーマに、
ゲームコーナー・屋台・
抽選会・打ち上げ花火・
ステージパフォーマンス・
近隣小学生の絵画
コンクールなどを行い
ます。お気軽に、足を
お運びください。※入場料はございませんが、
屋台は有料販売となります。

申込

不要。直接会場へ

問合せ

特別養護老人ホーム
縁JOY (担当: 藤井)相模原市内7月のイベント情報
(市商業観光課HPより抜粋)

○中道志川あゆまつり

開催日時 七月二日(日)

午前十時から午後二時まで※小雨決行

開催場所

青野原オートキャンプ場あゆの碑前河原

○相模湖ダム建設七〇周年記念

相模湖ダム祭

開催日時 七月十七日(月・祝)

午後十一時二十分から四時三十分

開催場所

相模ダム、相模発電所、相模湖畔
県立相模湖交流センター、県立公園

○上溝夏祭

開催日時

宵宮: 七月二十一日(土)

午後五時から九時まで

(山車の巡行、ステージショー)

本宮: 七月二十三日(日)

午後一時三十分～九時三十分

(パレード、御輿の渡御、山車巡行)

開催場所

上溝商店街通

○ついで中野夏まつり

開催日時

七月二十九日(土) 神輿渡御

宮出午後三時から、演奏午後七時から

七月三十日(日) 山車運行

開催場所

中野神社境内および中野商店街通り

○相模川鮎釣り大会・魚のつかみ取り大会

開催日時 七月三十日(日) 受付午前六時半

荒天時、増水時は八月五日(土)に開催

開催場所

相模川左岸、昭和橋下で受付、鮎釣り大会
のエリアは昭和橋から上流へ約1km

ヒトのチカラ

株式会社アレックは、人材サービスの会社として
無限の可能性を秘めた **ヒトのチカラ** を信じ、
ヒトのチカラ で企業と共に成長していきます。

弊社は平成元年に設立以来、人材派遣・業務委託を基幹業務として、「就業・雇用促進」というヒトと企業の橋渡し役を担っております。多くの派遣会社がありマン・ショック以降事業縮小していく中で、弊社はコンプライアンス遵守を積極的に推進することで、企業と就業者から信頼いただき、来年創業30年を迎えようとしております。

ダイバーシティ化が進む現在、多様な働き方を提案する就業支援としての役割のみならず、高齢化社会において高齢者の積極的雇用も、地域雇用促進の一翼を担っていると自負しております

～人材にお困りの際はアレックまで～

弊社では人材にお困りの企業に対し、派遣のみならず人材紹介や採用代行など企業のニーズに沿ってより良いカタチでの就労をご提案させていただきます。

～お仕事にお困りの方～

アレックでは積極的に高齢者の採用を行っております。(72歳定年制)
週1日～働けるお仕事をご提案させていただきます。
お気軽にお問い合わせください。

相模原市で活躍する会社紹介

エンジニア専門人材派遣

ALEC

株式会社アレック



高宮 剛さん

代表取締役

たかみや 高宮

まさと 政人さん

取締役営業部長

たかみや 高宮

つよし 剛さん(39歳)

(公社)相模原青年会議所 常任理事

住所: 緑区東橋本2-2-6-103

電話 042-771-1120

FAX 042-774-2411

URL: <http://www.alec.co.jp>e-mail: info@alec.co.jp

営業内容:

- ①人材派遣業
- ②製造・軽作業 業務委託
- ③有料職業紹介事業
- ④採用代行
- ⑤人材コンサルティング

お仕事のご相談・お問い合わせは

☎ 0120-633-228

受付: 月曜～金曜9:00～17:00

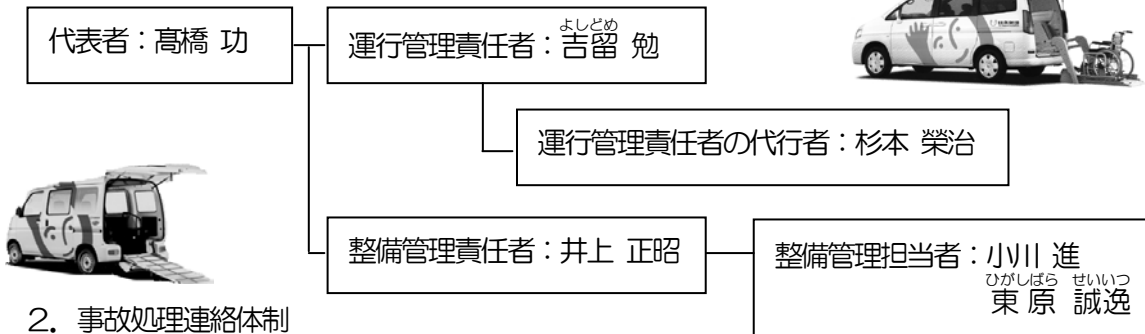
今年度 運行管理責任者など 決定

※下記の体制表は、行政宛提出書類の様式に準拠

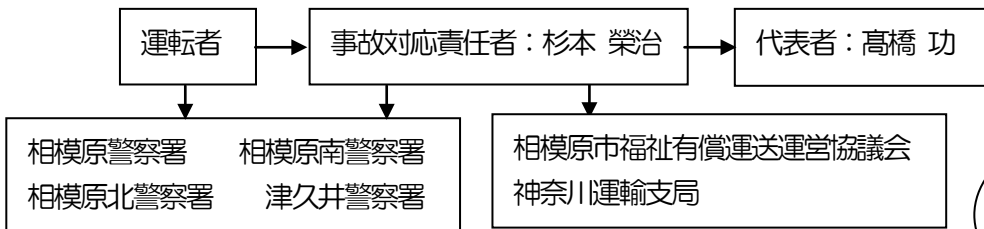
ハンディキャプだより



1. 運行管理・整備管理体制



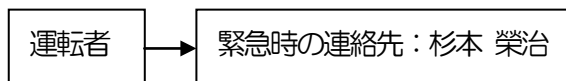
2. 事故処理連絡体制



3. 苦情処理体制



4. 緊急時の連絡先（「事故」以外で、事務局の業務時間外に於ける緊急時の連絡）



安全運行の為、
皆様のご協力をお願いたします



仲間

趣味は「おしゃべり」と「おいしいものを食べること」

今年度から事務局に参加しました。よろしくお願い致します。
 昨年^{ささしま}の当協会主催「傾聴活動入門講座」を受講した時に、その講座の事務を担当されていた篠島さんとお会いしたことがきっかけでした。実は篠島さんとは5年前にゴルフ場で一緒に、以来時々お話しする間柄でした。「暇だったらやってみない。今事務局は人が少なく、忙しいの」と誘われました。

先月からほぼ週1回のペースで事務局の仕事を始めています。なにしろ覚えることが多く、その一つ一つが複雑で戸惑っています。そして、同じことを連続して行うのではなく、多くのことを単発的に処理するような仕事ですので、なかなか身に付きません。なんとか一人で要領よく仕事を熟せるよう頑張りたいと思います。

私の趣味は3つ、ゴルフと「おしゃべり」と「おいしいものを食べること」です。ちなみにゴルフ歴は25年、他の二つは〇〇年です。



事務局員 佐藤邦子

今年度も よろしく

事務局メンバー

管掌理事：小野 明雄、理事：吉留 勉
 事務局員：（50音順）
 いしげき 石関 清美、ささしま 篠島紀子、佐藤邦子、
 たていし 杉本 まゆみ、かすえ 立石 雅子、堀 一恵、
 和田 雅代
 事務局サポーター：（50音順）
 田中 すずみ、守屋 和郎

ハンディキャプ委員会

管掌理事：杉本 榮治
 委員長：加藤 修
 委員：（50音順）
 井上 正昭、小川 進、小野 明雄、
 ひであき 児玉 英明、よしどめ 吉留勉

国認定運転者講習（8月5日・6日）の受講生募集：042-715-0989 井上まで

地区社会福祉協議会 活動紹介 VOL7

“地域にある福祉課題を発見し、みんなで共有し、解決していく”
「福祉コミュニティ形成事業」等の各地区の取り組み

“ゆとりとふれあいを豊かにするまちづくり”『いこいの広場』の開催

星が丘地区社会福祉協議会 坂本洋三 会長



昔のご近所付き合いのように子どもや高齢者が気軽に道端であいさつができるような関係づくりをめざし、あらゆる世代の方が集える憩いの場、交流の場として『いこいの広場』を実施しています。

『いこいの広場』では、おしゃべりや趣味のコーナー（手芸、オセロ、囲碁将棋等）をはじめ、カラオケ、グラウンドゴルフ、体操などメニューはさまざま。コーヒーや軽食をまじえながら「千代田いこいの広場」「星が丘地区いこいの広場」「横山いこいの広場」の3か所で世代間交流の輪を広げています。

連絡先：市社協 星が丘地区担当 山崎ひろみ TEL042-704-6275

★平成 29 年 4 月 1 日現在

人口 17,838 人

高齢化率（65 歳以上） 25.3%

年少人口率（14 歳以下） 12.2%



わたしたちで支えあう福祉のまちづくりをめざして！

光が丘地区社会福祉協議会 飯沼守会長

〇「福祉の相談窓口」と「光が丘サポート隊」



ちょっとした「困りごと」は近隣同士で助け合える地域をつくりたい！こんな願いから「困りごと」を地域で受け止める「福祉の相談窓口」と「困りごと」を解決する担い手の登録の仕組み「光が丘サポート隊」がスタートしました。「福祉の相談窓口」は毎週月・水・金曜日にサポート隊員が交代で相談を受け、寄せられた「困りごと」を活動可能なサポート隊員に依頼し、お手伝いをしています。

〇「にぎわい処」

さまざまな世代の人たちが気軽に立ち寄り、お茶や昼食を楽しみながら交流する場「にぎわい処」を週 2 日（火曜日、木曜日）オープンしています。

「野菜の多い手作りの料理がおいしい」「家ではひとりだけの食事だけど、ここではみんなと一緒に食べるのがとても楽しい」といつも笑い声が絶えず、仲間づくりの場になっています。



連絡先：市社協 光が丘地区担当 倉持麻鈴 TEL042-704-6275



ボランティアさん募集！

高齢者施設での将棋のお相手

内 容 入居されている90歳代男性の将棋のお相手。将棋3段の腕前です。
日 時 月1回程度、木曜日から金曜日の午後2時～4時
場 所 イリーゼ橋本中央（中央区南橋本2-11-16）



連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所：電話 042(759)7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター：電話 042(786)6181

おめでとうございます♪



相模原誘導グループ ささの会
緑綬褒章を受章されました

相模原誘導グループ「ささの会」が、五月十八日、社会福祉活動で顕著な実績を賞するということで緑綬褒章を受章されました。

ささの会は一九八三年(昭和五十八年七月)創立。視覚障害者の日常生活の外出介助、小中高の学校や一般への福祉体験講座の講師派遣、また誘導ボランティア講座・スポーツ介助など多岐に渡る活動をなさっています。

本誌におめでとうをいませ。

お知らせ

ほかふれ委員会より

今年も「ほかふれあいフェスタ2017」が十月十四日(土)に開催されます。「ほかふれあいフェスタ2017 障害者週間キャンペーン」は十二月九日(土)です。
実行委員長の高橋会長を中心に、実行委員、みんなで色々と企画を練っています。会員の皆さまも、ボランティアなどでの参加をよろしくお願い致します。

《今月のイラスト

…今日は、ママといっしょにお品所》



編集後記

私事ですが、六月待ちに待った「月」です。庭の木々の緑がまします。前の山の木々も緑に変身です。
そして、相模川の鮎釣しも解禁となり、太公望の我々には待ち遠しい「月」です。
それから、女性の皆様 特に胸元に気を付ける月ですよ。

ほらんていあ通信 楽しく読んでください。

(勝)